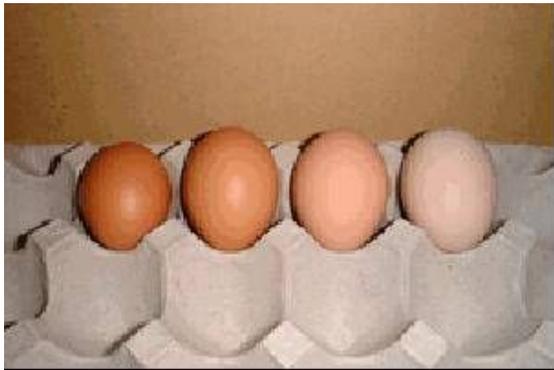


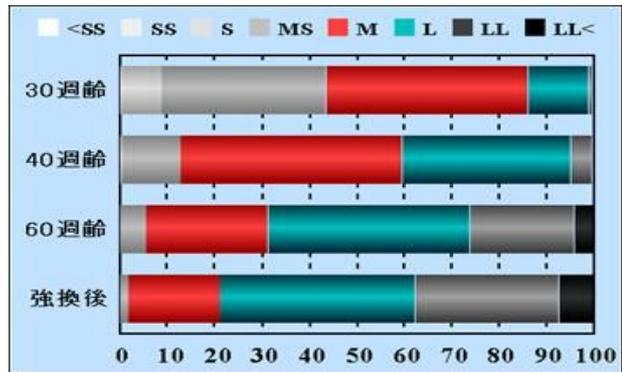
鶏卵の商品価値向上技術の開発

鶏卵の品質は、ニワトリの日齢が進むに従って低下する。特に、褐色卵(いわゆる赤玉子)にあっては卵殻の色が著しく薄くなり、消費者の購買意欲が低下するため流通業者に敬遠される。また、産卵後期には卵重が大きくなり過ぎて、規格外卵(LL以上)の割合が高くなり、収益性が低下する要因の一つとなっている。そのため、卵殻の色落ち防止方法及び卵重抑制方法について検討し、商品価値の高い鶏卵の生産技術を開発し、農家経営の安定化を図る。



卵殻色の变化規格卵割合の推移

(左から 25,40,50,65 週齢)



規格卵割合の推移

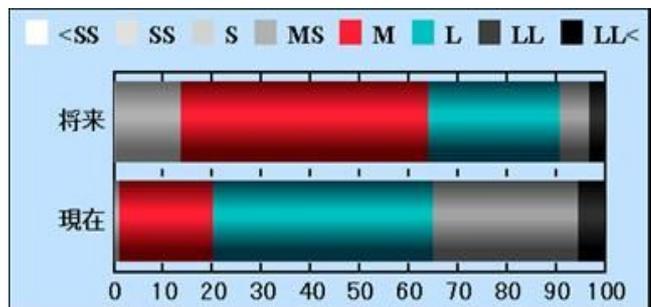
1 卵殻の色落ち防止技術の確立

2 卵重抑制技術の確立



産卵後期の卵殻色

技術確立後は卵殻色が濃く(右)、色のバラツキが少なくなる



商品価値の高いM、Lサイズの割合が増加

(養鶏試験場・主任研究員・坂本恭一)